

TOPICS 3 ペガサス大阪南看護学校 専修学校認可・新入生募集

ペガサス大阪南看護学校が 専修学校として認可されました。

ペガサス大阪南看護学校が専修学校として認可されました。これにより、学生さんはJASSO奨学金を利用できるほか、通学定期の学割が適用され、より多くの学生さんが経済的負担を軽減しつつ、質の高い教育を受けることが可能となりました。現在、2025年4月入学の新入生を募集中です。私たちと一緒に、専門的な看護知識と技術を学び、医療現場での活躍を目指しましょう。詳細は、当校のホームページや公式Instagramでご確認ください。

あなたの看護師キャリア、ペガサスでスタートしよう!

【入試日程(一般入学生)】

令和6年12月14日(土) ホームページ
令和7年1月11日(土)
令和7年1月25日(土) 公式
令和7年2月8日(土) Instagram



※社会人も受験可能

●お問い合わせ/TEL 0721-26-8270(ペガサス大阪南看護学校)

TOPICS 4 社会医療法人ペガサス 2026年卒対象「企業研究会」

未来へつながる一步。 全職種対象!ペガサス企業研究会開催。

馬場記念病院では、令和6年12月から令和7年2月にかけて、全職種対象の企業研究会を開催します。この会は、各職種について深く理解を深め、先輩たちの生の声を聞く絶好の機会です。特に就職活動を控えている方、チーム医療の実情、職場の雰囲気、福利厚生に関心のある方におすすしめします。参加希望者はGoogleフォームからお申込みいただけます。申込締切は各開催日の1週間前となっています。ぜひこの機会にご参加ください。

【開催日】

12月13日(金) 14:30~16:30
12月20日(金) 14:00~16:00
1月17日(金) 14:00~16:00
1月27日(月) 14:30~16:30
2月14日(金) 14:30~16:30
2月27日(木) 13:30~15:30

Google
フォーム



●お問い合わせ/TEL 072-265-9089
メール honbug@gmail.com(人事課)

PEGASUS NEWS



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
https://www.pegasus.or.jp/
編集/ペガサス広報委員会
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和6年12月11日

Vol.114

ペガサスから地域のみなさまへ

地域の医療機関、介護事業所、救急隊の皆さまへ

つなぐ、救う、迅速に—— 馬場記念病院のダイレクトコール。

馬場記念病院では、地域の医療機関の先生方、介護事業所の皆さま、そして救急隊の皆さまからの緊急患者さまの紹介に対応するため、各専門領域の医師が直接応答するダイレクトコールを設置しています。



◆ 脳卒中ダイレクトコール

TEL 080-1482-9456
対応時間:24時間対応可能

当院では、脳神経外科医へのダイレクトコール体制を導入し、脳梗塞や脳血管疾患の疑いがある救急患者さまを迅速に受け入れています。これにより、治療開始までの時間を大幅に短縮し、救命率や回復率の向上を目指しています。また、24時間対応で「t-PA」治療にも対応しています。

◆ 消化管出血ダイレクトコール

TEL 090-7253-7643
対応時間:月~金/9:00~17:00 土/9:00~12:00
※対応時間以外は TEL 090-3262-9767

当院の消化器科では、2024年6月より「消化管出血コール」を導入しました。このシステムにより、消化管出血の疑いがある患者さまへのより迅速な治療が可能となりました。地域の医療機関の先生方や救急隊の皆さまから、ダイレクトで消化器科医に連絡できますので、ぜひご利用ください。

◆ ハートコール

TEL 080-2423-5192
対応時間:月~金/9:00~17:00
※対応時間以外は TEL 090-3262-9767

当院の循環器内科では、医療機関専用ダイヤル「ハートコール」を開設し、循環器疾患に関するご相談や緊急患者さまの紹介に迅速に対応しています。狭心症や心筋梗塞などのカテーテル治療を可能な限り24時間体制で実施し、患者さまの健康管理についても効果的にサポートしています。

上記番号は病院・診療所・救急隊からの緊急連絡用です。一般の方は代表番号へご連絡ください。

【お問い合わせ先】 馬場記念病院 TEL 072-265-5558(代)

社会医療法人ペガサス馬場記念病院



各専門領域の医師が対応いたします

脳卒中ダイレクトコール
24時間対応可能
080-1482-9456

消化管出血ダイレクトコール
月~金 9:00~17:00
土 9:00~12:00
対応可能時間以外は下記にご連絡下さい
090-3262-9767

ハートコール
月~金 9:00~17:00
対応可能時間以外は下記にご連絡下さい
090-3262-9767

【問い合わせ】 社会医療法人ペガサス馬場記念病院
〒592-8555
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
☎ 072-265-5558(代表)



なんでも相談窓口

場所:馬場記念病院 総合案内横
時間:平日9時30分~12時まで
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。
お問い合わせ/ペガサス地域包括ケアセンター TEL:072-265-5558(担当 角城)

ペガサス健診センターの ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。
お問い合わせ/072-265-6006



ペガサスグループ 株式会社ユニコ

ユニコ 英会話教室

●幼児クラス...月額2,600円
水曜/16:00~16:40
●小学生クラス...月額3,000円
水曜/17:00~17:50

外国人講師もいて
楽しく本格的レッスン

年間受講回数
40回

●お問い合わせ
TEL:072-263-3001
https://www.unico-pg.com/

詳しくは
QRコードから

私たちと一緒に働きましょう。

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり
業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃
D)データ入力 E)資料作成等。
お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Instagram
baba.memorial.hospital



ペガサスマンモサNDER

開催予定

【開催日】(予定)
1/5(日)
2/2(日)
【開催時間】
9時~16時

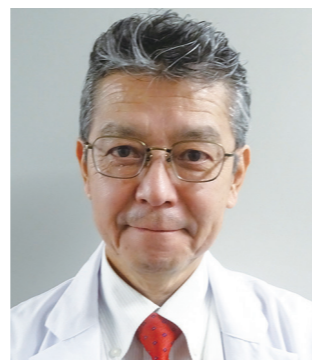
【お問い合わせ】

TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

皮膚科治療の最前線

難治性皮膚疾患に挑む、新たな皮膚科治療の最前線。

難治性皮膚疾患は、患者さまの生活の質 (QOL) を大きく損なう病気の一つです。症状が長引き、治療が困難なケースが多いこれらの疾患に対し、当院の皮膚科ではさまざまな治療法を取り入れ、地域医療を支えています。



皮膚科部長
深井 和吉

1) 広範囲の円形脱毛症

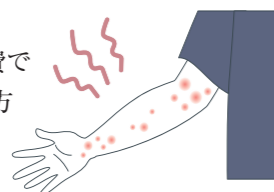
これまでの治療は、ステロイドの塗布や局所注射が中心でした。しかし、最近登場した「JAK (ジャック) 阻害薬」という錠剤は、全身の症状に効果を発揮する新薬です。患者さまの生活を改善する大きな可能性を秘めていますが、副作用を慎重に監視する必要があります。そのため、当院では血液検査やX線CTなどの画像診断を行いながら安全に治療を進めています。

2) 難治性の蕁麻疹

通常の抗ヒスタミン薬で症状が収まらない場合、バイオ医薬品 (生物学的製剤) という注射薬による治療が有効です。特に、蕁麻疹が数カ月～数年単位で長期間続く患者さまには、迅速な治療が求められます。当院では、アナフィラキシーリスクの管理が可能な環境を整え、安心して治療を受けていただける体制を整えています。

3) 重症アトピー性皮膚炎

皮膚疾患の中でも、特に患者さまの生活に影響を及ぼすのがアトピー性皮膚炎です。最近ではバイオ医薬品 (生物学的製剤) の選択肢が増え、乳幼児にも対応可能な治療が進化しています。18歳未満の方は、医療費が公費でカバーされますので、重症例の方はご相談ください。



4) 遺伝性血管浮腫

遺伝性血管浮腫 (HAE) は、顔や喉などが急に腫れ、喉が腫れると窒息の危険があります。この疾患は遺伝性が強く、診断が遅れることが課題です。血液検査で確定診断後、血液製剤やカリクレイン阻害薬で治療・予防が可能です。侵襲的治療時には予防薬を使用し、早期診断と適切な対応でQOLの改善が期待されます。

5) 膿疱性乾癬

膿疱性乾癬は、乾癬の中でも重症で、発熱や全身の炎症を伴う場合があります。これまでの治療法では症状を完全にコントロールするのが困難でしたが、バイオ医薬品 (生物学的製剤) が登場したことで、治療効果が飛躍的に向上しました。特に、発熱を伴う急性期の治療においては、迅速な効果が期待できます。

6) 難治性の皮膚潰瘍

難治性皮膚潰瘍は、循環障害や基礎疾患が原因で治療が難しい疾患です。一部では悪性腫瘍が関与するため慎重な診断が必要です。治療は原因特定後、圧迫療法や感染管理を行い、適切なケアで症状悪化を防ぎます。

7) ファブリー病

ファブリー病はX染色体連鎖性の希少疾患で、発汗困難や四肢痛、皮膚血管腫が特徴です。放置すると腎不全や心不全、脳梗塞を引き起こす可能性があります。酵素補充療法が有効です。早期診断と若年期からの治療で合併症を防ぎ、長期的な健康維持が可能です。家族歴の確認も重要です。

登録医の先生方へ

皮膚科救急に3名体制で迅速に対応します。

馬場記念病院は2次救急を担う医療機関として、皮膚科領域の救急疾患にも積極的に対応しています。蜂窩織炎や筋膜炎、ウイルス性疾患などは、早期の診断と治療が重症化を防ぐカギとなります。特に筋膜炎のような進行の早い疾患では、迅速な対応が患者さまの命を救うことにつながります。当院では10月から3名体制で皮膚科救急に取り組み、地域の皆さまが安心して医療を受けられる環境を整えています。どんな小さな症状でもお気軽にご相談ください。

TOPICS 馬場記念病院 第37回近畿内視鏡外科研究会「優秀演題賞」

初期臨床研修医・古庄穂医師が「優秀演題賞」を受賞しました。

このたび、当院、初期臨床研修医の古庄穂医師が、第37回近畿内視鏡外科研究会において「優秀演題賞」を受賞しました。この賞は、学会での発表内容が特に優れたものと認められる演題に贈られる名誉ある賞です。

古庄医師が発表した演題は、「腹壁瘢痕ヘルニアに対する腹腔鏡下IPOM法」。腹壁瘢痕ヘルニアとは、過去の手術痕が膨らみ、内臓が皮膚の下に飛び出してしまう病気です。この病気に対して、腹腔鏡を用いた修復術「IPOM法」を選択することで、術後の在院日数の短縮や合併症リスクの軽減が期待できます。今回の発表では、当院での症例を整理・分析した結果をもとに、術式の有効性や安全性について報告しました。

学会発表に向けては、症例データの整理や解析を行い、抄録作成、スライド作成、さらに発表練習を重ねるなど多くの準備を行いました。古庄医師は、「指導医の先生方からの助言がなければ、気づけない点がたくさんありました」と感謝を述べるとともに、「他の先生方の発表を聞き

ながら、自分に足りない部分を学ぶ機会となりました」と振り返ります。

また、受賞の喜びについて、「これまでの人生で賞をいただく機会は少なかったもので、素直に嬉しいです」と語る古庄医師。しかし同時に、「この栄光に満足することなく、日々の臨床と研究に励み、さらに上を目指していきたい」と意気込みを語ります。

今後は令和7年3月の研修修了後に専門医の認定を目指しながら、手術トレーニングや学会発表を通じて医師としての経験を積み重ねる計画です。「すべては患者さまに質の高い医療を提供するため」と話すその姿勢に、真摯な医療への情熱を感じました。



TOPICS 馬場記念病院 第74回馬場記念病院勉強会

地域医療の向上を目指し 登録医の先生方と勉強会を開催。

社会医療法人ペガサスでは、地域医療のさらなる充実に向けて、連携する登録医の先生方と、定期的に勉強会や集会を開催しています。この一環として、「第74回馬場記念病院勉強会」が2024年11月7日に馬場記念病院会議室で行われました。馬場記念病院呼吸器科部長の高村竜一郎医師が座長を務め、ハイブリッド開催形式で同時に多くの医療関係者が参加しました。

講演では、整形外科医長・救急部副部長の柴田将伍医師が「母指CM関節症と指粘液腫の手術法」についての詳細な手法と成果を共有し、消化器科副部長の伊東君好医師が「非アルコール性脂肪性肝疾患」の治療新技術を説明しました。さらに、脳神経外科医長の川野陽祐医師が「複雑な動脈瘤に対する最新治療戦略」を、最後に、副院

長の西尾俊嗣医師が「地域連携バスの運用実績」について報告しました。ペガサスでは、これからも、登録医の先生方との関係を強化し、皆さまの暮らす地域の医療機能をさらに高めていきたいと考えています。

第74回馬場記念病院勉強会

- 演題① 母指CM関節症、指粘液腫
当院ではこういう手術をしています
整形外科 医長・救急部 副部長 柴田 将伍
- 演題② 「非アルコール性脂肪性肝疾患について」
消化器科 副部長 伊東君好
- 演題③ 「複雑な動脈瘤に対する治療戦略」
脳神経外科 医長 川野 陽祐
- 演題④ 「地域連携バス運用実績報告」
副院長 西尾 俊嗣

【馬場記念病院勉強会・登録医集会】
2025年3月29日(土) 開催予定
アゴラ リージェンシー堺

